センター工事作業

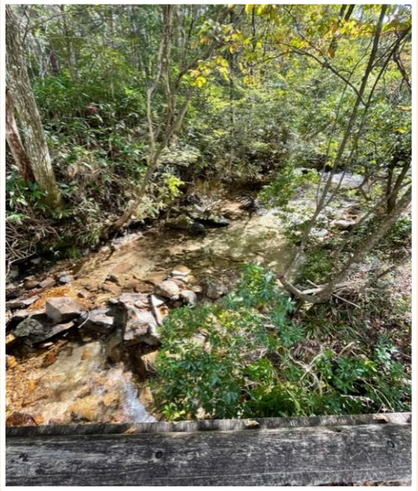
室内天井・壁・床・間仕切壁　撤去完了

屋上既存の防止シート撤去作業中

ホール屋上、防水シート撤去後の下地調整完了

森へ行こう！
太田川源流の森（廿日市市吉和）

森へ行こう！
太田川源流の森（廿日市市吉和）



※野外活動（主催講座）として太田川の源流を訪ねる。
≪おいしい水は豊かな森から生まれる≫

　先般（10/12）主催講座の一貫として、小谷小学校・児童、親子13名（希望参加者）と共に広島市水道局による「森へ行こう」と題して廿日市市吉和（魅惑の里）山奥へ出向きました。当日は秋晴れに恵まれ、少し肌寒く感じました。空高く晴れ清々しく、多いに森林浴を楽しむことが出来ました。太田川流域水源涵養推進協議会の主催による勉強会を兼ねた奥深い森林を散策することが出来ました。午前中は森のなりたちとおいしい水とは…など理論と小実験をしながら、専門講師の先生から勉強することができました。

◎森は「緑のダム」・・・森に降る雨水は土の中に貯えられ、ゆっくりと浸透。徐々に河川に流れ出るため大雨の時にも一度に沢山の雨水は放出はない。又、長く雨が降らない時でも土の中で貯められた水が、ゆっくりと河川に流れます。この働きは、ダムの働きに似ていることから「緑のダム」と呼ばれている。
◎森は「自然の浄化場」・・・豊かな森の土の層がフィルターの役目となり、雨の中の小さなゴミを取り除き、木の根がリンや窒素などを吸収して水質を良質化する働きをします。地中の深い所にある岩などから適度なミネラルが水に溶け込みおいしい水をつくります。

　今回、森の大切さ、おいしい水の浄化作用について勉強いたしました。現在、児童は学校でこれらの問題について学ぶことも勉強することもない、然るに人間が生活して行く上での最も大切な知識であると思います。昭和30年代後半から40年代にかけて燃料革命により、どんな山奥の民家でもプロパンガスの普及により、薪・木炭の生産など必用性がなくなり、森の手入れをすることがなくなりました。その結果、山が荒れることで森の生態系が崩れ、きのこ類などの生物の生存が難しく、災害を引き起こす環境へと変化致しました。特に秋の味覚を代表する松茸は殆ど採取できません。このように健全な森が、いかに大切であるかを体験学習で学び有意義な野外学習の一日でした。参加者の皆さまありがとうございました。

※参考までに・・・太田川の水を飲料水として利用されている県下の市町は
　　・市・・・広島、呉、江田島、東広島、竹原市です。
　　・町・・・大崎上島、熊野、坂、海田、府中町です。